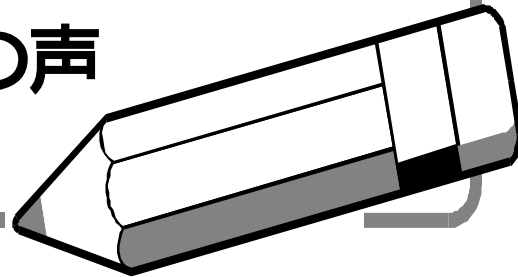


# 「ローバー・ジャパンは 輸入車業界の日本アムウェイだ!!」 と批判するワイズ読者の声



先日、ワイズ読者の前花利明さんからお手紙をいただいた。「ローバー・ジャパンを『第二のココ山岡』にはいけない」と題する弊誌 97年6月号から読者になられた方という。おそらくは前花さんも最初の頃は「何をデタラメな事を書いているのだ」と思われたのではないかと勝手に推測するが、弊誌編集部の見解は当時も現在も全く変わっていない。すでに我々編集部は 97年6月号にこう書いている。

「……<略>……まかり間違えればローバー・ジャパンは導入した新型ローンによって大損害を生じるだろうし、その損害を回避しようとすればユーザーとの間で民事・刑事の訴訟を大量に抱える事もあり得る。ローバー・ジャパンのみならず、ローバーの販売代理店、つまりディーラーでさえ民事・刑事トラブルの対象になりかねない。個々の販売代理店、ディーラー各社も倒産の危険をはらむことになるだろう。そうなれば、ローバー車のユーザーは多大な金銭的被害を被るはずである。<—————> そうした危惧と可能性をデータは示唆している。

……<中略>……ローバー・ジャパンがまともな企業ならば速やかに自らの非を認め、1日も早く『ローバー・スマート・オーナーシップ』を廃止することである。この企業が健康体を取り戻す処方箋はこれしかないと思うのだが、いかがなものだろうか。」(冒頭リード文より抜粋)

今となって思えば実に愛情に溢れた、的確な指摘であったかよくわかるとういうものである。しかし、この文の中で1つだけ間違いがあった。「この企業が健康体を取り戻す処方箋」云々と書いたが、後日の取材・調査によれば、ローバー・ジャパンがR S O (ローバー・スマート・オーナーシップ)を導入しなければならなかった主な理由は、もうすでにパイプライン登録が増加していた事。つまり、その時すでに粉飾決算状態であり、不健康な企業であったので「毒食わば皿まで」となっていたと考えられること。だから、どうアガいても健康体を取り戻すことなど不可能であったという事である。結論は「手遅れ」だったのだ。

ホームエコノミストワイズ編集部様

埼玉県 前花 利明

僕は25歳になる車好きの青年です。ここ数年、貴誌がローバー・ジャパンのことをいろいろ書いているので、それらについて僕なりの意見を述べたいと思いペンを取りました。これから述べるローバー・ジャパンに対する意見を貴誌に載せていただければ幸いです。

僕が『ホームエコノミストワイズ』を初めて目にしたのは、ワイズがローバー・ジャパンを最初に取り上げた 97年6月号でした。

最初は「何でローバー・ジャパンの悪口なんか……」と思いましたが、その後貴誌がローバー・スマート・オーナーシップや現在の経営陣が行っている行為を明らかにされ、さらにローバー・ジャパンは現社長のデイビッド・ブルームの自分勝手なやり方のせいでローバーの代理店までもが苦しめられていることが取り上げられ、それまで僕が抱いていた、ローバー車の華やかなイメージとは正反対の実態が浮き彫りにされ、「ローバー・ジャパンは何てひどいことをするんだらう。ローバー・埼玉中央やローバー・足立の経営者やお客さんがかわいそう」だと思いました。

それにしても何で豊橋のモータープールに、1つの自動車メーカーの生産量に相当する数の車をためておくんでしょうね？

しかもその中には自動車雑誌の試乗コーナーを飾り、評論家に評価された車まで……。

しかも長い間放置されたままの廃車同然の車までもがローバーの代理店に「新車」として押し付けられている。

買ったばかりの新車が廃車同然のコンディションだった、なんて信じられますか？新車の臭いもないし。

フランス・モーターズもクライスラー・ジャパンセールスもフォード・ジャパンもそんなことはやっていない!!

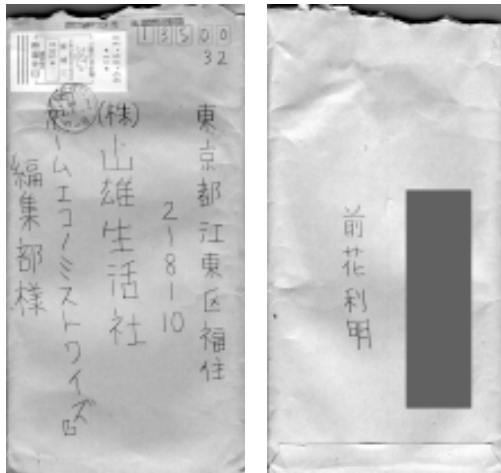
ローバー・ジャパンは車に欠陥があってもリコール届けはしたことがないし、もし欠陥があっても責任は無いと言うし、こんな信用できない企業があってもいいのでしょうか？

僕はこんな会社は絶対許しません。ワイズ編集部の人、絶対許すべきではないと思います。ローバー・ジャパンのやってる事は、日本アムウェイがやってるのとまったく同じではないでしょうか？

ローバー・ジャパンは輸入車業界の日本アムウェイだ!!とにかく、ワイズ読者の方はこの問題が解決するまでローバー車を買ったり、ローバー・ジャパンを信じない方がいいと思います。

『ローバー600』を買おうとしている方は、それをやめて日産の『ローバー600』とほぼ同じ値段の日産ローレルの2000ccメダリストの新車を買った方が、損をする事はないと思います。つまり、ローバー・ジャパンよりローレル・ジャパンの方が信頼できる、という事です。国産メーカーはローバー・ジャパンみたいなことは絶対しないし、お客さんに損はさせません。それでも輸入車が欲しいなら、ルノーとかフォルクスワーゲンとかオペルを買った方がいいと思います。

英ローバー社は独BMWの子会社で、もし



平成11年6月18日の朝日新聞より



ローバー・ジャパンの行為がバレればBMWジャパンにも影響しかねず、日本でのBMWのイメージに傷つくことが予想されます。

そのようなことがないようにするべきであり、そのためにはブルーム社長以下経営陣の追放と問題の早期解決が今後の課題ではないでしょうか？

ところで、今年の6月18日の朝日新聞に、こんなローバーの広告が載っていたのでその切り抜きをお送りします。広告の内容からすると結構いいことが書いてあり、関東及び静岡、山梨地区を対象にモニター販売のかたちで安く提供する、と言っています。が、これも豊橋のモータープールの車を早く処分したくてやっているんじゃないかと思うのですが、ワイズ編集部の方はどう思いますか？

もし、そのモニター販売で買ったローバー車が、車体はサビだらけ、タイヤの空気圧は抜け、完全にオイルが下がりきったエンジン……になってしまったら……。

もし、そのようなクレームがあってもローバー・ジャパンは責任を取るような事はしないだろうと思うと、やっぱり国産車を買った方

がいいのではないのでしょうか？

だいいち、今日本ではミニバンタイプの車が流行っていてセダンタイプの売上げが低下しているのにセダンを売り物にしている事自体おかしいし、もしこんな事をするのなら事前に入念なチェックをしてから売った方がいいと思います。

ローバー・ジャパンの人は、日本とイギリスの今の車のトレンドの違いを分かってない！

日本の人はみんな『ローバー600』と同じ値段で『オデッセイ』や『プレサージュ』といったミニバンを買っているのです。

ミニバンを持たない(輸入業界他社と比較して)ローバー・ジャパンはそんな事を知らないだろうと思います。

ワイズ編集部の人たちが、この同封した広告を見てローバー・ジャパンが何でこのような「モニター価格販売」と言うやり方をすることについてどう書くか楽しみにしています。

それから、ローバー・ジャパンに強制的に潰された代理店を追い出された店員の中で、スバルやスズキといった国産メーカーのディーラーに転職した人がいたら『ワイズ』で取り上

げて欲しいと思います。また、『ローバー埼玉中央』やその後潰された代理店のその後についても取り上げて下さい。

最後になりましたが、今後もローバー・ジャパンの悪口をもっと取り上げて、役所や警察がローバー・ジャパンを自宅捜査する時までこのことを追及し、今のローバー・ジャパンを解体してもらいたいと思います。(BMWジャパンによるローバー・ジャパンの更生を願う)

今後も貴誌の活動を見守りたいと思います。『ホームエコノミストワイズ』は絶対勝ちます！

P.S.

先日、川越市内のローバーの代理店に行ってみました。

店員の態度も良く、ショールームも明るく、とても悪徳行為をしているローバー・ジャパンの代理店とは思いませんでした。

本誌で指摘している程度の悪い車は店内では見かけませんでした。個人的には輸入車の中ではローバー車はルノーに次いで2番目に好きなので、このブランドイメージを踏みにじるような悪徳行為をすぐにでもやめ、現経

営陣を追放してローバー・グループ・ジャパンを更生してもらいたい！

このままいけばローバー・ジャパンは輸入車業界の日本アムウェイになる！

ディヴィット・ブルーム、多田徳光、田中均といった現経営陣は即刻追放だ！！

輸入車業界の日本アムウェイになりたくなければ即ちにBMWジャパンの管理会社にすべきである！

以上

## (後書き)

このお手紙を読むかぎり、前花さんはローバー車が好きな青年であるらしい。「好きだからこそ、しっかりしてもらいたい」と思っているのだろう。好きだからこそ、傷ついてしまう。一種、恋愛感情にも似たニュアンスを感じざるを得ない。ローバー車にはこういうファンがいるのだから幸せである。前花さんのような車好きの青年がファンとして批判してくれているうちは再生のチャンスはある。ローバー・ジャパンにはこの批判を真摯に受け止めて、自浄作用を発揮されることを望みたい。

